

2008 年度

科目名 カウセリング演習Ⅱ	対象学科・学年 人間人社3回生	担当者 中澤 正男
授業テーマ 代表的な心理療法を事例研究の視点から取り上げて技法の展開過程を中心に学ぶ。		
授業の概要と目標 カウンセラー・サイコセラピストの基本的態度・技術の訓練は、クライアントの内的世界に接近するため感受性と想像性を敏感かつ豊富化することが大切になる。授業では各種の心理療法の理論について既習であることを前提にして、事例研究の視点から代表的な技法の実際的な展開過程に焦点を当てて、理論と技術を一体的・有機的に学習する。		
評価方法 レポートの提出、授業態度などを考慮して総合的に評価します。		
テキスト 担当者の用意した資料に沿って進めます。	著者	出版社
参考書 授業の中で紹介します。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. 事例研究の意義 2. 遊戯療法のプロセスと理解（Ⅰ）情緒障害児を対象として 3. 遊戯療法のプロセスと理解（Ⅱ）自閉症児を対象として 4. 遊戯療法のプロセスと理解（Ⅲ）親面接 5. 箱庭療法（Ⅰ） 6. 箱庭療法（Ⅱ） 7. 芸術療法（Ⅰ）課題画を中心に 8. 芸術療法（Ⅱ）風景構成法を中心に 9. カウセリング面接（Ⅰ） 10. カウセリング面接（Ⅱ） 11. カウセリング面接（Ⅲ） 12. カウセリング面接（Ⅳ） 13. カウセリング面接（Ⅴ） 14. 行動療法（Ⅰ） 15. 行動療法（Ⅱ）		